

神奈川県学童保育

秋の学習会（拡大運営委員会）開催

去る9月10日(日)、年に一度の拡大運営委員会が、大和市高座渋谷にある支部や学習センターにて開催されました。

拡大運営委員会に先立っての午前中は、神奈川県の学童保育を支える議員連盟と県連協の共催による、厚労省家庭保育課健全育成推進室室長補佐の青木浩一氏を招いての「放課後児童クラブについて」と題した学習会が行われました。

「放課後子ども総合プラン」について全般的なお話を、学童保育の実施状況や予算面を交えながら解説すると同時に、子どもの出生率や子育て環境などにも触れながらの一時間余りの講演でした。

この学習会への参加者からは「改めて勉強・確認にはなったが、もう少し細かく聴きたかった」「学童保育が市町村で運営される中、国がどのように運営の実態を確認しているのか見えない」「直接国から話を聞く機会は大変貴重であった」「地域の声を届ける意味でも良い面があったと思う」などの感想が寄せられています。

講演後約30分の質疑応答が行われ、事前の質問の他に会場からも複数の質問や意見・要望などが出されました。いくつか紹介すると…「移転にかかる補助金の使途について、旧施設の原状復帰に使えないのか?」という切実な質問がありました。これには「局内で確認する」ということになっています。また、川崎市の参加者からは「『わくわく』は国から補助金を受けているが、学童保育は市が認めないために補助金が受けられない。方策はないのか」という質問には「あくまでも市とよく話をしてほしい」との回答でした。

全国的に学童保育の整備は進んでいますが、まだまだ私たちが望んでいる学童保育の充実までには幾多の問題が山積していることが改めて浮き彫りになる学習会でもありました。

尚、学習会には県下市町村選出の県議・市議50名、職員8名を含む122名の参加がありました。



【青木浩一氏】

2017年度拡大運営会議に参加して

大和市連協 平野篤史

午後の部には横浜、横須賀、平塚、逗子、三浦、綾瀬などの各地から大和に集まっていた支援員の先生方、保護者、約20名以上の方が参加し拡大運営会議が開催されました。

まず、午前中に行われた青木浩一氏の「放課後児童クラブについて」をテーマにした講演について、各地域の進捗状況を踏まえて情報整理を行いました。

続いて「2018年度に向けた市への要望」についての報告が各地域から行われ、国の掲げる施策を実行する際に十分に行き渡らない現状を改めて確認できました。各地域により行政との関わり方は様々であり、行政担当者の定期的な異動、保護者の学童保育への関わり方の変化などがあるため、連協として意見をまとめる必要性と継続性について考えさせられました。学童保育補助金交付要綱についても各地域の違いについて報告がありました。特に印象に残ったこととして、意見の集約が困難になってきている状況についての報告がありました。近年の運営主体の多様化が進み、ある地域では保護者会、NPO、株式会社などが混在している状況があるため、要望を一括りにまとめることができないとのことでした。大和市においても様々な運営主体の学童と共に「どのように安定的な運営を行い」、「どのように学童の質を向上させるか」という議論があります。今後も各地域のアイデアやアプローチ方法などについて共有させていただきたいと思っております。参加させていただきありがとうございました。

2017年夏のえいが会

県連協では、今年度初めて『夏の文化事業』に取り組みました。大和市、綾瀬市、平塚市の3カ所で、各連協の協力をいただき、夏休みの一日を彩ることができました。

参加した子どもたちから寄せられた感想を（紙面の関係上少しだけ）ご紹介します。

- ★ かいけつぞろりのえいががたのしかったです。とくにきのこにのってじゃんぷしたところがたのしかったです。
- ★ かいけつぞろりはとてもすてきでした。たのしかったからもっとみたかったです。うれしかったです。



- ★ （おまいうまそうだなを観て）感動して涙が出ちゃったあー！
- ★ 高学年に（感想を）聞いてみたら「ふつう〜」。真剣に観ていたくせに！
- ★ 続きが見たい。いつやるの？ など

保護者の皆さま、指導員の皆さま、ご協力ありがとうございました。

私のおすすめ『日本の学童ほいく』

毎月の運営委員会で、「私のおすすめ『日本の学童ほいく』」を地域持ち回りでご紹介いただいています。8月には大和市連協の弓気田さんから **2017年6月号『放課後児童クラブ運営指針解説書の発行を受けて』(P.66)**から、「柏女先生の「運営指針解説書」に込めた願いを読んだ。運営指針が学童保育よりにかかっていると聞いていたが、さらに思いを強く感じとれる。共通言語として、担当課や公営クラブの関係者と話をしていきたい。」とご紹介をいただきました。

そして9月には、綾瀬市指導員の佐伯さんより、**2017年8月号「考えよう！子どもたちの生活の場」**から、「仕切りを作ったりなど工夫されている様子が紹介されていて、綾瀬は民家が多く改造できないので、とても参考になった。自分のクラブでも、記事を参考にして図書室を作ったりしています。」とお話をいただきました。皆さんも、クラブで、市連協で、もう一度読み合わせなどしてみませんか？

2017年9月号～10月号に掲載されている神奈川からの投稿

<2017年9月号>

- | | |
|-----------------------------|-----------------|
| ☆ 子育て日記 『「子、育て」大人が見守るそのなかで』 | 平塚市保護者 伊藤千華さん |
| ☆ 私のオススメ残暑メン！！ | 三浦市指導員 新保一博さん |
| ☆ 読者のひろば 「おだやかに気持ちに」 | 横須賀市指導員 笹川瑞穂さん |
| 「学童保育の生活のなかで」 | 横浜市保護者 佐々木麻美子さん |

<2017年10月号>

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| ☆ 特集『息子たちと歩んだ日々をふり返って』 | 横浜市保護者 平野英美子さん |
| ★ 子どものひろば | 横須賀市 隼之介くん |
| ☆ 仕事・職場のいま『誇り高き日本人』 | 海老名市保護者 Wigley Damian さん |
| | 日本語訳 妻・岩井理恵さん |

第53回全国研 in 神奈川(2018年秋)開催に向けて…③

『53 全国研 in 神奈川』実行委員長紹介



【殿村雅文実行委員長】

みなさん、「ぜんこくけん」(全国研)って、知ってますか？

はじめて耳にしたときには、「禅・酷・拳！ ハイヤーアーツ！」(なにかの必殺技か?)と思ったのは私だけでしょうか。

全国研=全国学童保育研究集会は、毎年1回、2日間にわたって開催される学童保育関係者の一大イベントです。1964年の第1回開催からはじまり、学童保育のことを「もっと良くしたい」「もっと知りたい」と願う保護者や指導員などが全国各地から集まり、学び合い、交流しあう場として、定着してきました。

今年(第52回)の兵庫県に続き、来年の第53回全国研は、なんと12年ぶりに神奈川県で開催されます。

申し遅れました、わたくし、このたび実行委員長の大役を仰せつかりました殿村と申します。大和市連協の役員をしている現役父母で、中学3年生の長男が9年前に民設民営の学童保育に入所した頃から、父母会長などを務めながら関わってきました。現在は小6の次男と小4の長女が毎日クラブに通い、お迎えにも毎日行っています。

全国研 in 神奈川の成功のカギは、みなさんが握っています。スタッフとしてお手伝いしていただくことはもちろん、やはり一人でも多くの方を誘い合って参加することが何よりも大切です。たくさんの笑顔で全国の参加者をお迎えして、笑顔がいっぱい伝染するような全国研をみんなで盛り上げましょう！

物 品 販 売

お申込み・お問合せ…神奈川県学童保育連絡協議会(Tel: 045-662-9647)

天然の味【元祖笹川流れ】の昆布塩

日本海の清海水に北海道産昆布を入れ、特許製法で沸騰させない釜で仕上げた塩です。おにぎり、浅漬け、てんぷらやお刺身の付塩などに最適です。この季節なら、冷やしたキュウリやトマトにつけて食べたら美味しそう！焼魚、ステーキもシンプルに塩味で♪。

販売価格…350円/個(200g入り)
3個 1,000円

☆ 昆布塩を使ったおやつ ☆

昆布塩をおやつに使ったクラブから「美味しかったヨ(^^♪)」との声をいただきましたので、ご紹介します。

- 炊き込んでおにぎり
- てんぷらの衣に入れて…
- 絶品、キュウリ漬

他に、簡単・美味しいメニューがありましたらご紹介ください！

*ご好評いただいた「小豆島の高級素麺」もわずかですが、事務所に在庫あります♪

【編集後記】

なるべく時宜に応じた原稿を、と模索している。

やはり衆議院の解散・総選挙が今の最大のトピックでは……！

新党ができたり、離合集さんがすすんだり。神奈川の地でも安保法制反対を標榜していた人が賛成を踏み絵にした党派へいくなど「？」がつくこともおきている。

大事なのは雰囲気踊らされるのではなくひとつひとつの政策を確認し選択することでは。

活動報告(8月～9月の主な活動報告)

8月20日(日) 53 全国研拡大実行委員会①	9月10日(日) 学習会・拡大運営委員会(大和市)
8月22日(火) 夏のえいが会(平塚会場)	9月20日(水) 41 かな研実行委員会①
9月2日～3日 9月全国運営委員会	10月1日(日) 53 全国研拡大実行委員会②
9月9日(土) 第48回指導員交流会(相模原市)	

♪ 地域連協だより ♪

相模原市連協だより

☆新聞工場見学

8月3日、4日に市連協主催の朝日新聞座間工場見学を実施しました。2日間で7団体、190名が参加しました。紙とインクの強烈な匂いや輪転機のスピードに目を子どもたちは丸くしていました。3原色を重ねることでフルカラーになることに最も注目が集まっていました。引率した支援員からは、外出の機会になった、子どもたちが新聞をめくるようになった、親子での会話のネタが増えた、低学年の体力が心配だったが杞憂だったなど感想をいただきました。また、この行事をきっかけにこれまで交流のなかったクラブの支援員さんとも顔を合わせることができました。

☆指導員交流会

9月には県の指導員交流会に来ていただきました。地元での開催ということで、市営の支援員さんの参加もありました。学校との連携というテーマで様々な議論がなされました。

ケガや病気など学校での状況が共有されない、一部の小学校では学区外の民間学童には行かないよう通達があった、個々の先生なら話は聞いてくれるけど……など、相模原では以前より学校との連携が難しいとたびたび話題になってきました。学校と学童の意識の差や慣例の壁はすぐに解決できることではありません。しかし今回の交流会でいくつか具体的なヒントをいただけたので、早速取り組んでいきます。

☆アートワークショップ

昨年、一昨年と実施してきた相模原市民間学童アートワークショップが今年も動き始めました。昨年に引き続き、市担当課、女子美術大学、イオン古淵店と協力し進めていきます。

☆施策・予算等

公設公営と補助事業の民設民営が共存していく方針。民設に関しては届け出をだして児童数5名以上なら補助金が交付されます。国の10名に対し市は5名ですので、小規模となっても存続ができるようになっています。しかし処遇改善は進んでいません。改善されたのは時給100円上乗せのみ。キャリアアップに関しては実施予定なしとなっています。



次号の「地域連協だより」では横須賀市連協を予定しています。お楽しみに！

<これからの主な予定>

- 11月4日(土)～5日(日) 第52回全国学童保育研究集会 in 兵庫(神戸市)
 - 11月23日(木・祝) 53全国研 in 神奈川実行委員会総会(横浜市市従会館)
 - 1月8日(月・祝)AM 「日本の学童ほいく」普及推進会議(横浜市健康福祉センター)
 - // PM 2018年新春会長会議(横浜市健康福祉センター)
 - 3月4日(日) 第41回神奈川県学童保育研究集会(横浜市開港記念会館他)
- *その他、運営委員会は毎月第1木曜日、役員会は第3金曜日に開催。